

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法評価学 I		演習・講義	谷 和真・安村 明子	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 ( 1 単位)		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
理学療法を行うための検査・測定について学び、実技を通して技術の修得をすることが目的となる。解剖学、運動学の知識を基に骨指標の触診、形態測定、関節可動域測定の方法を正しく実施できるように身に付ける。				
授業の到達目標				
1. 骨指標を理解し、触診の実施ができる。 2. 形態測定法を理解し、実施できる。 3. 関節可動域測定を理解し、実施できる。 4. 一定の時間内に評価を終了し、記録し、まとめることができる。				
授業計画				
回	内容			
1	骨指標の理解と触診			
2	形態測定：四肢長			
3	形態測定：四肢長			
4	形態測定：周径			
5	形態測定：周径 まとめ			
6	実技テスト①			
7	関節可動域測定：上肢測定①			
8	関節可動域測定：上肢測定②			
9	関節可動域測定：上肢測定③			
10	関節可動域測定：下肢測定①			
11	関節可動域測定：下肢測定②			
12	関節可動域測定：下肢測定③			
13	関節可動域測定：体幹測定①			
14	関節可動域測定：体幹測定②、まとめ			
15	実技テスト②			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	・筆記試験 (40%) ・実技テスト (60%)		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載	筆記試験、実技テストの割合は上記の通りとし60%以上で合格とする。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学 専門分野 理学療法評価学 第3版	内山靖 編		医学書院	
運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢 改訂第2版	青木隆明 監修		メジカルビュー社	
運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹 改訂第2版	青木隆明 監修		メジカルビュー社	
自由記載	プロメテウス解剖学アトラス解剖学総論/運動器系第3版を各自、必要に応じて使用し理解を深めること。			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
理学療法評価学 第6版補訂版	松澤正 他		金原出版株式会社	
臨床理学療法評価法 臨床で即役に立つ理学療法評価法のすべて 第2版	鈴木俊明 監修		アイベック	
自由記載				
備考				
Tシャツ・ハーフパンツなど動きやすい服装で授業に参加すること。小テストは授業内に実施する。状況に応じて進度など変更する可能性がある。授業の進行により、予定された講義・演習内容を変更することがある。 授業時間外を有効に活用し練習を行って技術を習得すること。				